

未定稿

**平成 16 年度食品安全モニター課題報告**  
**「食品安全委員会のこれまでの取組等について」の結果（暫定集計版）**  
**（平成 17 年 1 月実施）**

＝ 概要 ＝

1. 調査目的

これまでの各種取組等に対して、食品安全委員会の取組に一定の知識を有する食品安全モニターがどのような認識を持っているかを把握し、食品安全委員会の今後の取組に際しての参考とするため、

食品安全行政全般について

（信頼感の変化とその理由、リスク分析手法の基本的な枠組についての理解の浸透状況）

食品安全委員会のリスク評価を中心とした取組について

（委員会の運営全般の透明性、リスク評価の科学的かつ中立・公正性、BSE 問題に対する取組、自らの判断で行う評価対象案件の選定方法等、参考になった情報など）

食品安全委員会の取り組むリスクコミュニケーションについて

（リスクコミュニケーションへの取組と効果、BSE 対策についての意見交換会開催の効果、意見交換会への参加による理解度の変化など）

の 3 項目について調査を実施した。

2. 実施期間 平成 17 年 1 月 20 日～2 月 10 日

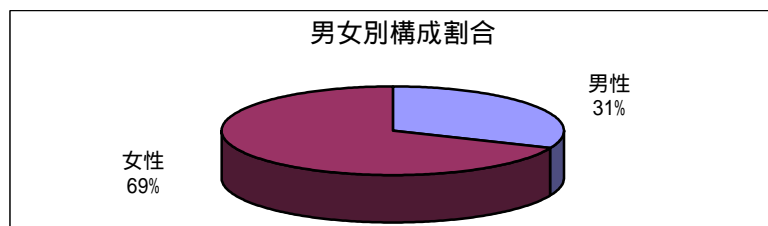
3. 対 象 食品安全モニター 466 名（うち、162 名は平成 15 年度から継続）

このうち、本「暫定集計版」では、2 月 2 日までに回収された報告分（回答数：368）のみを集計して取りまとめたものである。

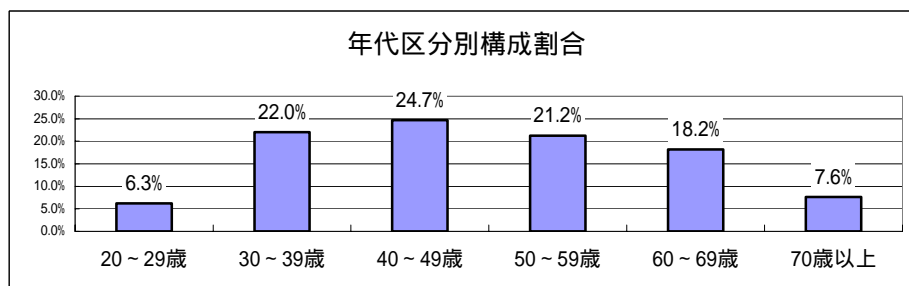
なお、最終集計値については現在とりまとめを行っているところである。

（参考）回答者数 368 名の内訳

男女別：男性 115 人 女性 253 人

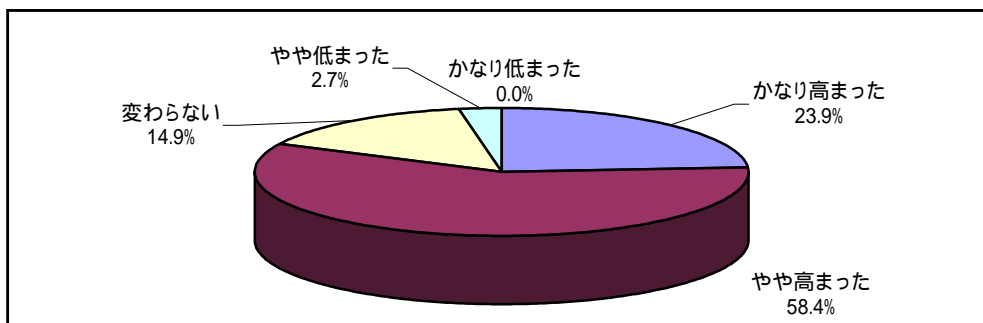


年代区分別：20～29 歳 23 人    30～39 歳 81 人    40～49 歳 91 人  
 50～59 歳 78 人    60～69 歳 67 人    70 歳以上 28 人

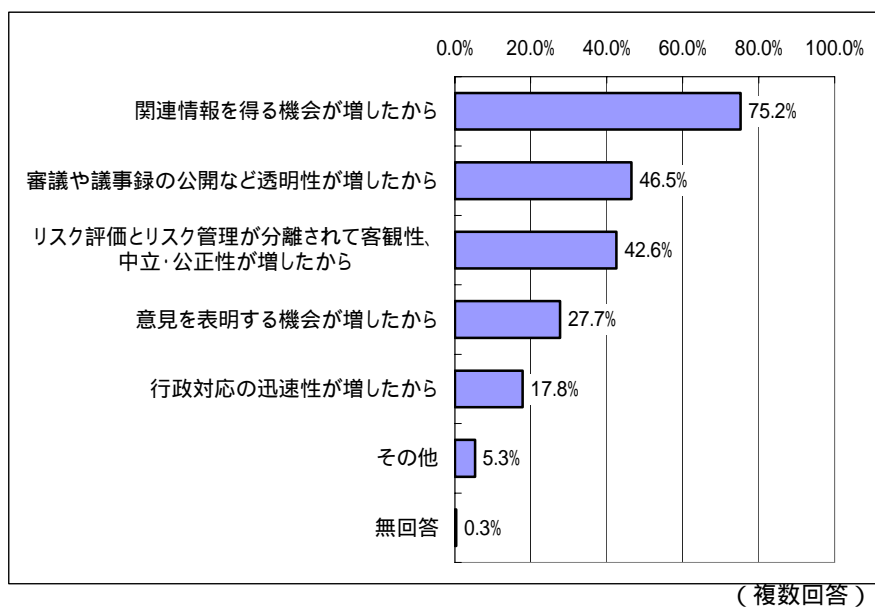


## 第1 食品安全行政全般について

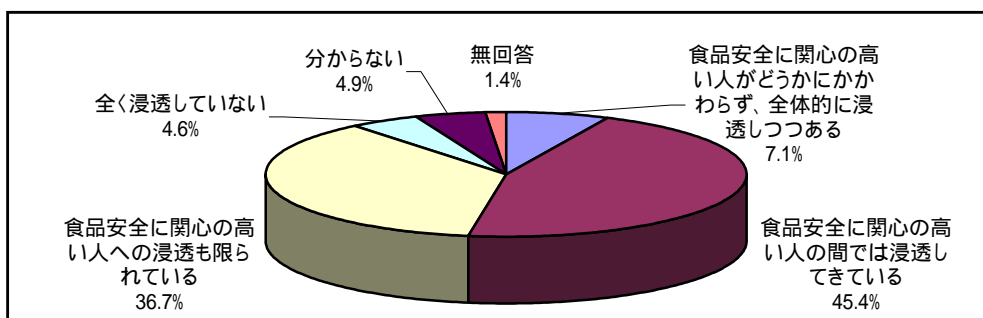
食品安全基本法施行以降の食品安全行政全般に対する信頼感の変化 n = 368



食品安全行政全般に対する信頼感が高まった理由 n = 303

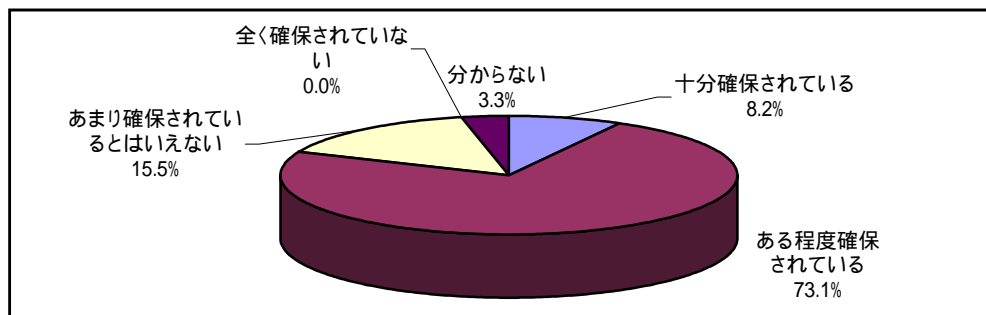


リスク分析手法の基本的な枠組についての理解の浸透状況 n = 368

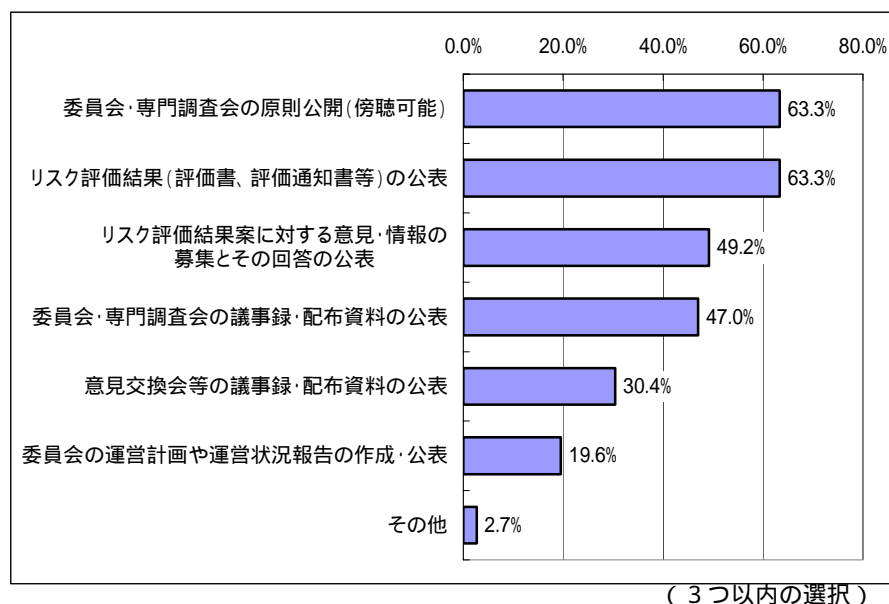


## 第2 食品安全委員会のリスク評価を中心とした取組について

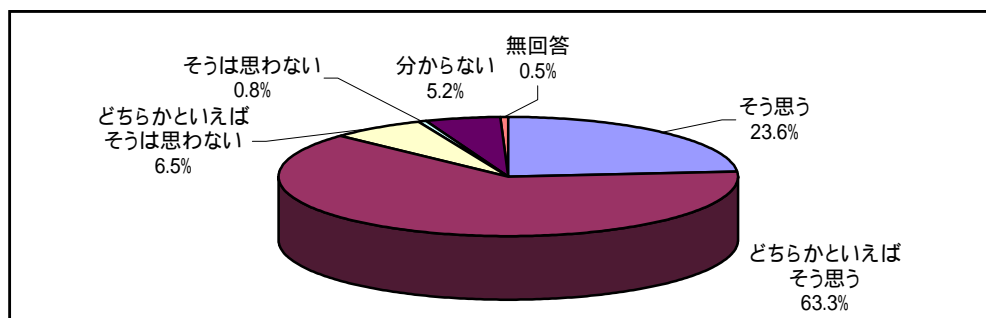
食品安全委員会の運営全般についての透明性 n = 368



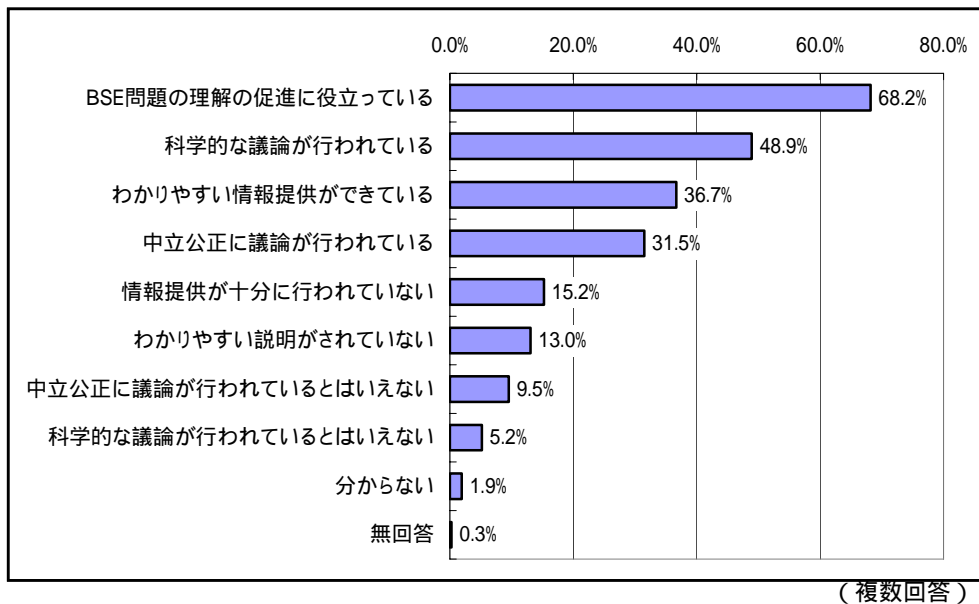
食品安全委員会の運営全般についての透明性を確保するために重要と考える取組 n = 368



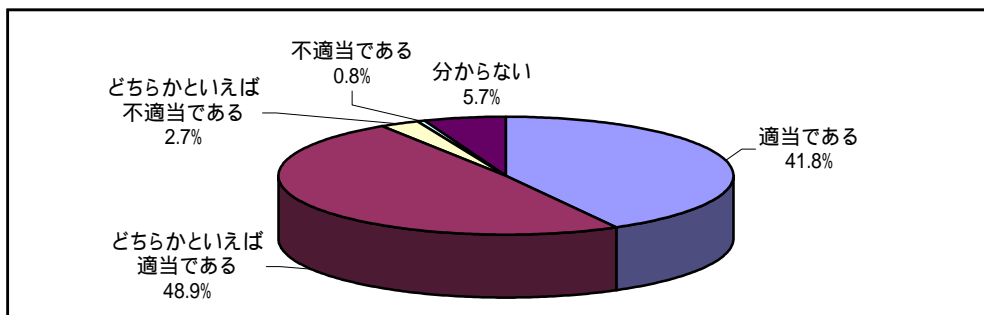
リスク評価の過程やその結論についての科学的かつ中立・公正性 n = 368



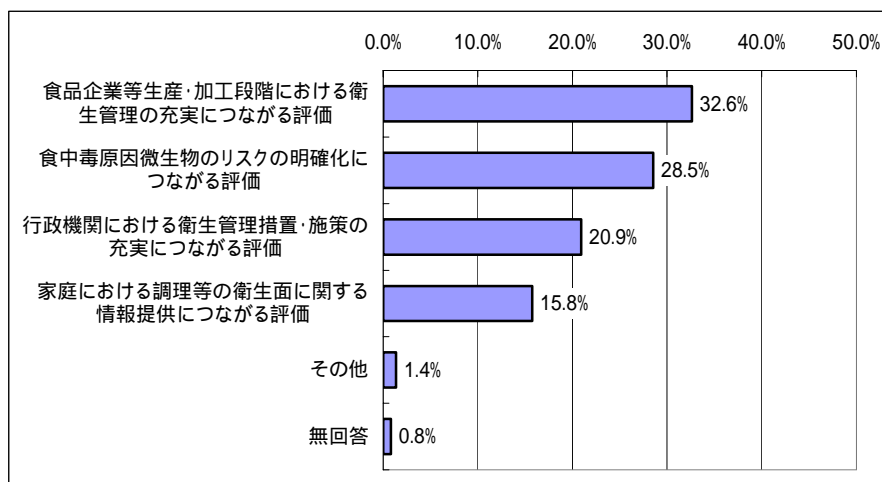
BSE問題に対する食品安全委員会のこれまでの取組 n = 368



リスク評価を食品安全委員会自らの判断で行う案件の選定方法等 n = 368

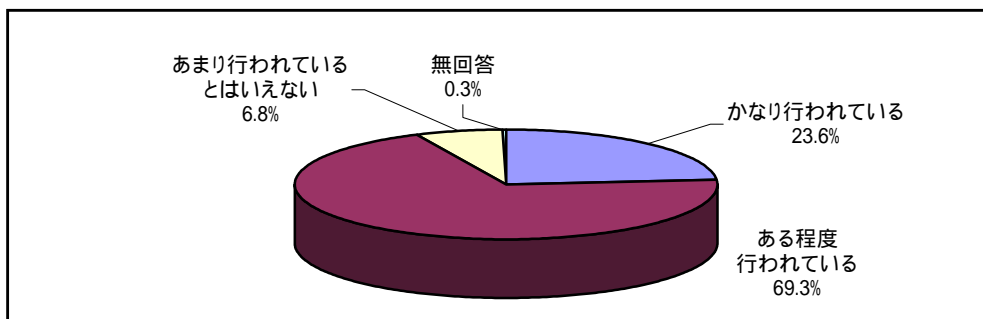


「食中毒原因微生物の評価」に期待する評価の方向性 n = 368

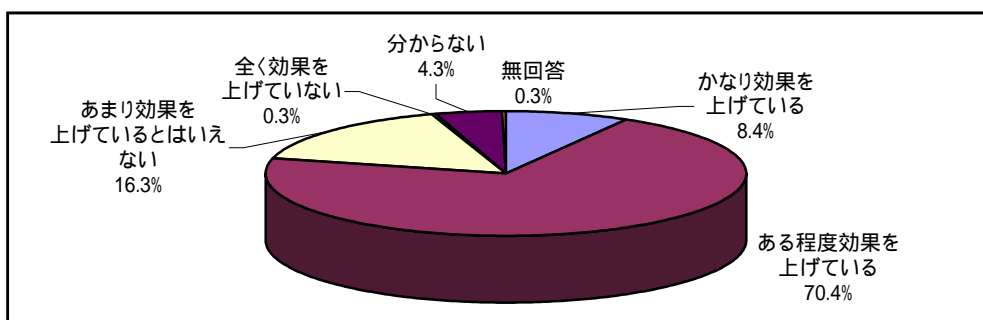


### 第3 食品安全委員会の取り組むリスクコミュニケーションについて

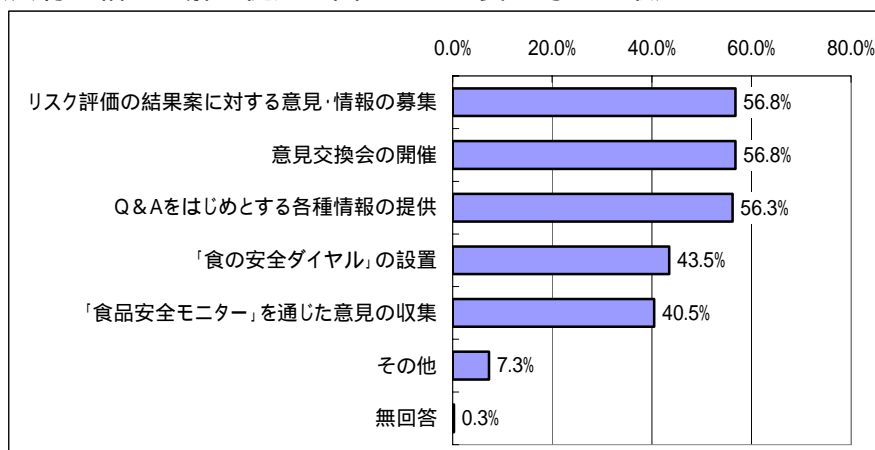
リスクコミュニケーションへの食品安全委員会の取組 n = 368



情報共有・相互理解の促進という観点からのリスクコミュニケーションの効果 n = 368



情報共有・相互理解の促進を図る上で重要と考える取組 n = 368



( 3 つ以内の選択 )

食品安全委員会が主催する意見交換会への参加による理解度の変化 n = 169

